

単施設用

(研究) 実施についてのお知らせ

令和4年2月24日

【研究課題名】 当院の要支援妊婦の実態と支援の課題

【研究期間】 2022年2月承認日～2023年3月31日

【研究対象】

2020年4月1日～2021年3月31日に当院で分娩した妊婦とその児

【研究目的・意義】

目的：当院で分娩管理を行った要支援妊婦の実態を調査し今後の支援体制を構築する

意義：

当院は公立病院かつ総合周産期母子医療センターであり医学的・社会的ハイリスクの妊婦を診療する機会が多い。要支援妊婦の支援は、こども虐待予防にもつながるため小児科医にとっても重要な課題である。本研究は、当院の要支援妊婦の実態を調査し現状の問題点を明らかにすることで、今後の支援に必要なマンパワーや他機関連携のあり方を検討するための資料とする。

【研究方法】

周産期診療録より母体情報を、児の診療録より児情報を抽出し検討する。

【研究に用いられる試料・情報の種類】

母体情報：年齢、分娩月日、分娩様式、妊娠分娩歴、基礎疾患、精神疾患、知的障害、産科合併症、婚姻歴、妊婦健診初診時期、経済的困窮の有無（助産施設、生活保護）、DV歴、夫・パートナーの年齢、児童相談所介入歴等

児情報：性別、在胎週数、出生体重、NICU入院の有無、医療ケア導入の有無、1ヶ月検診受診、基礎疾患、外傷による救急センター受診歴 等

【試料・情報の二次利用】

現時点では予定していない

【個人情報の取扱い】

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することがす

ることができないよう、対応表を作成して管理する。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、鍵のかかる保管庫に保管する。

【本研究の資金源（利益相反）】

本研究に関する利益相反はありません

【本研究に関する問い合わせ先】

沖縄県立中部病院 診療科名：新生児内科 担当者名：真喜屋智子

沖縄県うるま市字宮里 281 番地

TEL：098-973-4111（代表）

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、上記の問い合わせ先にお問い合わせください。